

楽しんでいただきたために、時を越えて舞台の名作が高画質の定点上映で蘇ります。

舞台芸術作品を「観に行く」から「やってくる」へ。舞台芸術をもっと手軽に

舞台映像上映 Re LIVE THEATER

# Re ライブシアター

上映作品

高槻文化友の会 特別企画

こまつ座  
『母と暮せば (2024 ver)』

(2024年 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYAにて収録)

|    |           |
|----|-----------|
| 原案 | 井上ひさし     |
| 作  | 畑澤聖悟      |
| 演出 | 栗山民也      |
| 出演 | 富田靖子 松下洸平 |



2026年7月25日(土) 14:00 開演 (13:15開場)

高槻城公園芸術文化劇場 南館 トリシマホール(1505席)

一般：1,500円 高槻文化友の会：無料 (全席指定)

Re LIVE THEATER  
舞台映像上映 **Reライブシアター**

舞台芸術作品を「観に行く」から「やってくる」へ。  
舞台芸術をもっと手軽に楽しんでいただくために、時を越えて舞台の名作が高画質の定点上映で蘇ります。

上映  
作品

こまつ座  
『母と暮せば(2024ver)』 (2024年紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYAにて収録)

上映時間90分



撮影:福岡諒詞

原案 | 井上ひさし  
作 | 畑澤聖悟  
演出 | 栗山民也  
出演 | 富田靖子 松下洸平

平和を願うすべての人に捧げる、こまつ座「戦後“命”の三部作」の第三弾。第一弾のヒロシマ(『父と暮せば』)、第二弾のオキナワ(『木の上の軍隊』)に続き、祈りのナガサキを舞台に紡がれる母と息子の命の物語。数々の井上作品を演出してきた栗山民也、劇作家の畑澤聖悟、母・伸子役に富田靖子、息子・浩二役に松下洸平。初演より井上ひさしの意志を受け継いだスタッフ・キャストが、作品を深めるべく集結し、2024年待望の再々演を果たした作品。

日時 2026年7月25日(土) 14:00開演 (13:15開場)

会場 高槻城公園芸術文化劇場 南館 トリシマホール (1505席)

料金 全席指定 | 一般: 1,500円 (税込) 高槻文化友の会: 無料

- \*友の会年会費は1,500円。この機会にぜひご入会を!
- \*友の会会員(無料)の方も通常の公演と同様にチケットの予約・発券が必要です。
- \*未就学児の入場はご遠慮ください。\*チケット完売の場合、当日券は販売しません。
- \*車椅子席/補助犬の同伴をご希望の方は、窓口・電話にてお問い合わせください。\*1階席のみの販売です。

発売日 高槻文化友の会 Web▶ 4/8 (水) より  
高槻文化友の会 窓口・電話、ネット会員Web▶ 4/15 (水) より  
一般 Web・窓口・電話▶ 4/22 (水) より

※発売初日の電話受付は14:00より

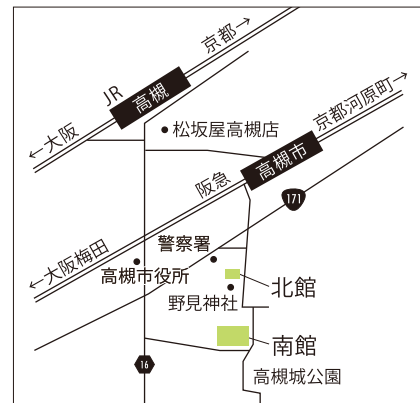
【チケットのお申込み&お問合せ】

チケット販売場所 高槻城公園芸術文化劇場 南館 1F 〒569-0077 高槻市野見町6-8  
TEL 072-671-9999 (10:00~17:00/月曜休館※祝日の場合は翌日)

劇場WEBサイト



阪急「高槻市」駅より徒歩約8分  
JR「高槻」駅より徒歩約13分



※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力をお願いします。

舞台映像上映

Reライブシアター

とは?

「Reライブシアター」は、「舞台公演映像」と「劇場空間」を掛け合わせた新たな舞台芸術の鑑賞スタイルです。一般社団法人EPADが全国の公立文化施設と連携して、舞台公演映像の上映活動を展開しています。「誰かと肩を並べ、同じ時間を共有する」そんな体験は、劇場ならではの楽しさのひとつです。高画質で記録された定点映像を劇場空間で観ることは、まるで俳優たちが目の前にいるかのような錯覚をもたらします。編集を施さない定点映像だからこそ、生の舞台に触れたときの臨場感や高揚感を感じることができるのです。EPADでは、「Reライブシアター」の取り組みが、舞台芸術の未来につながる新たな一歩になることを目指しています。

主催: (公財)高槻市文化スポーツ振興事業団

企画: (一社)EPAD **EPA+D**

協力: (公社)全国公立文化施設協会

助成: 文化庁 人材育成・収益化に向けた  
舞台芸術デジタルアーカイブ化推進支援事業

文化庁  
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

高槻城公園芸術文化劇場  
Takatsuki Arts Theatre